

# ■英作文

## ●ねらい

本書は、自分の言いたいことを英語で書き表す能力の養成に的を絞って編集された英作文のテキストで、高校3年生を対象にしています。

英作文は大きく分けて「和文英訳」と「自由英作文」の2つに分けられますが、どちらも整序作文の練習をしているだけでは十分に対処できません。使う単語を自分で考え、どんな構文・表現で表すのが適しているかを自分で判断して英語に直す練習が必要です。

PART Iでは、主要文法別・表現別に和文英訳の練習をします。英作文の基本は正確な文法力です。ここで英語 I・英語 IIの復習を兼ねながら、英作文の重要な基礎力を完成します。

PART IIでは、国公立大入試レベルの英作文問題に対処できる学力の養成をめざします。native speakerが書くような立派な英文を書く必要はありません。与えられた日本語を、やさしく言いかえてから英訳する練習を通して、減点されない答案作りのコツを身につけます。高校生が無理なく書けるレベルの英文を、文法的なミスなく書けるようになるのが目標です。

## ●構成

1. 全体はPART IとPART IIに大きく分かれています。PART Iは20のLessonから成り、主要文法別・表現別に標準的な英作文の練習をします。PART IIは「発展英作文」と「条件英作文」に分かれ、国公立大学入試レベルの、より長い日本語の英訳を練習します。

### 2. PART Iの構成

**暗記例文** 重要な表現を含む例文を提示。

英訳の観点から例文を解説。

**練習問題** 各Lessonの内容に関する和文英訳問題で、**1**は部分英訳、**2**は全文英訳、**3 challenge**はやや長い日本語の英訳、という問題構成。

### 3. PART IIの構成

- ・発展英作文 「問題 → 解説 → 類題」のセットで構成。問題は大学入試から精選。
- ・条件英作文 「問題 → 考え方」のセットで構成。

# もくじ

## 〈PART I〉

<b>Lesson 1</b> 主語の決定	4
一般人称の we, you / 非人称の it / 無生物主語 / 否定主語	
<b>Lesson 2</b> 時制の決定	6
基本時制(現在・過去・未来) / 現在完了・過去完了・未来完了	
<b>Lesson 3</b> 文型(1)	8
S + V / S + V + C / S + V + O	
<b>Lesson 4</b> 文型(2)	10
S + V + O + O / S + V + O + C	
<b>Lesson 5</b> 受け身	12
be 動詞 + 過去分詞 / 受け身の未来形・進行形・完了形 / get + 過去分詞 / have[get] + O + 過去分詞	
<b>Lesson 6</b> 知覚・使役	14
see[hear] + O + 原形不定詞[現在分詞・過去分詞] / make[have, let] + O + 原形不定詞 / have[get] + O + 過去分詞 / make oneself understood[heard]	
<b>Lesson 7</b> 比較(1)	16
原級・比較級・最上級の基本表現 / X times as ~ as ... / as ~ as possible[one can] / 比較級 + than any other ...	
<b>Lesson 8</b> 比較(2)	18
否定主語の比較表現 / the + 比較級..., the + 比較級~ / all the + 比較級 + for[because] ... / 比較級 + and + 比較級	
<b>Lesson 9</b> 形容詞句・関係詞節(1)	20
名詞 + 前置詞句[不定詞句/分詞句/形容詞句] / 関係代名詞〈主格・目的格〉	
<b>Lesson 10</b> 関係詞節(2)	22
関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞	

<b>Lesson 11</b>	<b>名詞句</b> .....	<b>24</b>
	名詞的用法の不定詞 / 動名詞 / 疑問詞 + to 不定詞	
<b>Lesson 12</b>	<b>名詞節</b> .....	<b>26</b>
	S + V(+ O) + that .... / S + be 動詞 + that .... / It ~ that .... / 名詞 + that ... / 疑問詞節 / if[whether] 節 / 関係代名詞 what	
<b>Lesson 13</b>	<b>副詞句・節(1)</b> .....	<b>28</b>
	副詞的用法の不定詞 / in order to ~ / so as to ~ / in order that S may ~ / so that S may[can/will] ~ / in case S (should) ~	
<b>Lesson 14</b>	<b>副詞句・節(2)</b> .....	<b>30</b>
	原因・理由を表す場合 / 程度・結果を表す場合	
<b>Lesson 15</b>	<b>副詞句・節(3)</b> .....	<b>32</b>
	条件を表す場合 / 事実と反する仮定を表す場合	
<b>Lesson 16</b>	<b>副詞句・節(4)</b> .....	<b>34</b>
	「…だけれども」の言い方 / 「～にもかかわらず」の言い方 / 「たとえ…でも」の言い方 / 「何を[どんなに]…しようとも」の言い方	
<b>Lesson 17</b>	<b>希望：義務・必要の表現</b> .....	<b>36</b>
	希望の表現 / 義務・必要の表現	
<b>Lesson 18</b>	<b>推量・可能性：依頼・要求の表現</b> .....	<b>38</b>
	推量・可能性の表現 / 依頼・要求の表現	
<b>Lesson 19</b>	<b>勧誘・提案：許可・禁止の表現</b> .....	<b>40</b>
	勧誘・提案の表現 / 許可・禁止の表現	
<b>Lesson 20</b>	<b>否定の表現</b> .....	<b>42</b>
	主語が否定語の場合 / 目的語が否定語の場合 / 部分否定	
 <b>〈PART II〉</b>		
<b>1</b>	<b>発展英作文</b> .....	<b>44</b>
<b>2</b>	<b>条件英作文</b> .....	<b>60</b>

## Lesson 1

## 主語の決定

## 《暗記例文》

- ① 一般人称の **we, you**
- (a) **We** should keep our promises. (人は[私たちは]約束を守るべきである)
- (b) **You** can't judge a book by its cover. (本は表紙で判断できない)
- ② 非人称の **it**
- (a) **It** rained heavily last night. (昨夜は雨が激しく降った)
- (b) **It** is necessary for us to do our best. (私たちは最善を尽くすことが必要だ)
- (c) **It** is clear that you are right. (あなたが正しいことは明らかです)
- (d) **It** seems that she knows the news. (彼女はそのニュースを知っているようだ)
- ③ 無生物主語
- (a) **This book** will tell you a lot about that country.  
(この本を読めば、その国のことがよくわかるでしょう)
- (b) **What** made you say such a thing? (どうしてそんなことを言ったのですか)
- ④ 否定主語
- (a) **Nobody** knows what will happen tomorrow.  
(だれも明日何が起こるか分からない)
- (b) **No words** can express my feelings. (私の気持ちは言葉では言い表せない)

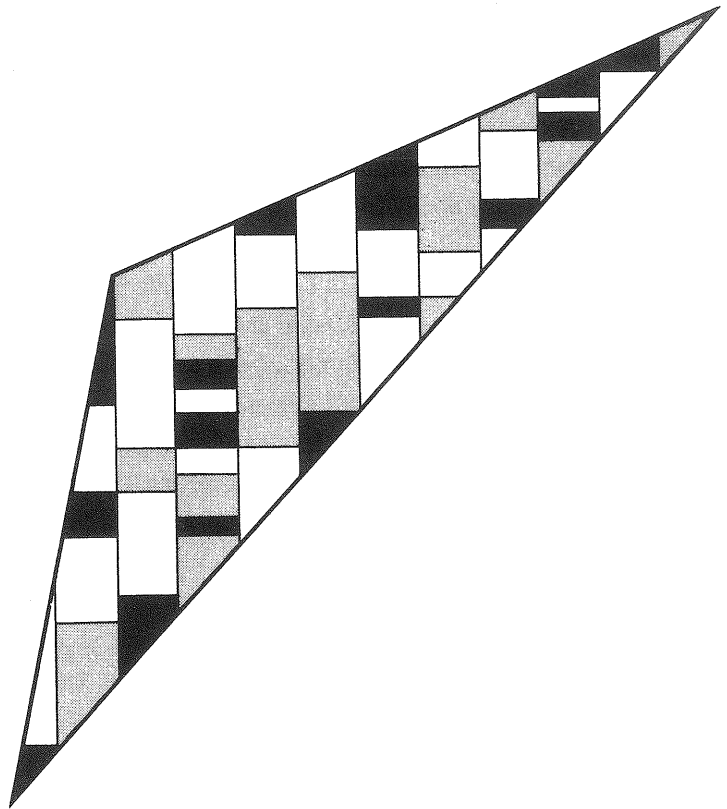
- ① (a) **we** は「自分を含めた一般の人」を表す。日本語では主語が省略されている文をよく見かけますが、その場合、この「一般の人」を主語にして英訳できることが多い。
- (b) **you** は「相手を含めた一般の人」を指すことがある。また、**they** や **one** も同じように「一般の人」を指す場合に用いられる。**They say that ...** 「…だそうである」
- ② (a) **it** は天候を表すときの形式的な主語として用いられる。このほかに、寒暖、時間、距離、明暗などを表す場合にも用いる。**It is three o'clock now.** (今、3時です)
- (b) **it** は **to** 不定詞の代わりをする形式主語として用いられる。
- (c) **it** は名詞節(**that** 節など)の代わりをする形式主語として用いられる。
- (d) **it** は **seem**[**appear**/**happen**] などの動詞の主語として用いる。**It seems**[**appears**] **that ...** 「どうやら…らしい」、**It happens that ...** 「たまたま…である」
- ③ (a) 例文は「この本はあなたにその国についてたくさんのことを教えるだろう」が直訳。英語では無生物を主語とした文がよく用いられる。
- (b) 「何があなたにそんなことを言わせたのか」が直訳。
- ④ (a) **nobody** (だれも～ない), **no one** (だれも～ない), **nothing** (何も～ない) などの否定語が主語になると、文全体が否定の意味になる。これらは単数扱いになる。
- (b) 〈**no** + 名詞〉が主語になると、文全体が否定の意味になる。



高校ゼミ・エッセンス

# 英作文

解答編



CKT

# PART I

## Lesson 1 主語の決定

p.5

- 1 (1) We[You] should be kind (2) It has been raining (3) It seems[appears] that  
(4) This medicine will make you (5) says that we will  
(6) No animal is more dangerous

解説 (1) 主語は「一般の人々」。(3) 「どうやら…らしい」は It seems[appears] that ... で表す。  
(4) 「この薬があなたをすぐに気分よくさせるだろう」と表す。(5) 「新聞は…と言っている」と表す。「大雪だろう」は「私たち(自分を含む一般の人)は大雪を持つだろう」と表す。(6) 否定語(no + 名詞)を主語にした比較級の文で表す。

- 2 (1) We[People] are getting older day by day.  
(2) They speak English and French in Canada.  
(3) It is important (for you[us]) to practice English every day.  
《別解》 It is important that you[we] (should) practice English every day.  
(4) It happened that I met[saw] an old friend (of mine) in the library the other day.  
《別解》 I happened to meet[see] an old friend (of mine) in the library the other day.  
(5) The weather forecast says that it will snow tonight[this evening].  
《別解》 According to the weather forecast, it is likely to snow tonight[this evening].  
(6) Nobody[No one] denies that love is the most important (thing) in the world.

《別解》 There is nobody [no one] who denies that love is the most important in the world.

解説 (1) 「人」は(自分も含めた)一般の人である。People を主語にしてもよい。(2) 「カナダでは」のように場所が限定されている場合、they が「一般の人」を表すのに用いられる。(3) 形式主語の It を用いる。to 不定詞、that 節のいずれでも表すことができる。(4) 「たまたま…である」は It happens that ... のほか、S happen to 不定詞…で表すこともできる。(5) 「天気予報は…と言っている」という文にする。according to ~ 「~によれば」を用いて表すこともできる。

- 3 What happens if you heat ice? It is easy even for a child to answer this question. [Even a child can answer it easily.] It seems that no other question is so easy as this (one).

解説 「温める」のはだれでもよい「一般の人」と考える。

## Lesson 2 時制の決定

p.7

- 1 (1) will be able to arrive[get/reach] there  
(2) have been good[close] friends since we were  
(3) By[In] April next year Mary will have worked  
(4) I had met[seen] the man somewhere before  
(5) (that) he has never broken his promise  
(6) they had been looking for for a long time

解説 (2) 現在完了で表す。「小学校から」は since elementary school でもよい。since のあとには名詞句だけでなく、節を続けることもできる。(4) 「会った」のは「気がした」(過去)よりも